

カンボジアスタディツアー2017

8月7日（火）②

午後は孤児院「希望の家」に移動して交流です。お昼をいただく前に、とても冷えたココナッツジュースをいただきました。



日本から持って行った中華丼・牛丼などのレトルトと希望の家で用意していただいたご飯・スープ・フルーツで昼食をとったあと、いよいよ交流会の始まりです。



松陽生はクメール語で、希望の家の子どもたちは日本語で自己紹介しました。

自己紹介が終わると、歌で交流です。ふるさと（日本語・クメール語）、アラピヤ（クメール語）、ドレミの歌、上を向いて歩こう（いずれも日本語）などを歌いました。



皆で記念写真。続いて、外に出て一緒に遊びました。



日本から持って行った縄跳びやビーチボール、水風船などで時間も忘れて楽しく遊びながら、友情が深まっています。

午後3時頃、スクールが来そうということで後片付けを急ぎ、バス・ワゴン車でメコン川のリバーサイドに移動。フェリーで反対岸に渡ってみんなで散策しました。





再びフェリーに乗ってプノンペン市街地側に戻ります。時間も良い頃合いになって来たので、現地の人たちに人気の食堂で夕食です。あとで聞いてみるとここで食べた食事が一番おいしかったとか…。カンボジア風のカレーが絶品でした。皆でワイワイと話しながら、箸をつつき合いました。



最後に、お店の前でみんな揃って記念写真。別れ際は寂しいもので、目を潤ましている生徒もいました。でもそれだけ心温まる交流ができたことの証かなと思います。菊地さん、現地マネージャーのナレットさん、希望の家の皆さん、どうもありがとうございました！

